

2025 年 10 月 23 日

「第 136 回九州の経営動向調査（2025 年 7～9 月期）」結果のお知らせ

西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）は、四半期毎に当行のお取引先さまのご協力を得て、経営動向調査を実施しています。このたび、第 136 回（2025 年 7～9 月期）の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

1. 調査対象企業

- ・当行の主要取引先 527 社（回答企業数 260 社、回答率 49.3%）
- ・回答企業：福岡県内企業 82.0%、中小企業 78.1%

2. 調査対象期間

2025 年 7～9 月期（※前回調査：2025 年 4～6 月期）

3. 項目別 BSI※の概要（製造業、非製造業、全産業）

	景況感			売上高			収益			資金繰り			商品在庫		
	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比	前回	今回	前回比
製 造 業	▲ 1.5	▲ 10.8	▲ 9.3	▲ 4.3	▲ 9.4	▲ 5.1	▲ 10.0	▲ 5.4	+4.6	▲ 4.3	▲ 6.7	▲ 2.4	▲ 7.2	▲ 8.1	▲ 0.9
非 製 造 業	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 8.3	1.5	▲ 4.8	▲ 6.3	▲ 5.6	▲ 10.8	▲ 5.2	▲ 1.0	▲ 5.9	▲ 4.9	0.5	1.6	+1.1
全 産 業	▲ 2.6	▲ 11.1	▲ 8.5	0.0	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 6.8	▲ 9.3	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 6.2	▲ 4.3	▲ 1.5	▲ 1.2	+0.3

※BSI とは、「好転・増加・不足」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・過大」の企業割合を差し引いた指標

- ・景況感は、製造業は前回比 9.3 ポイント悪化、非製造業は前回比 8.3 ポイント悪化し、全産業では前回実績▲2.6 から▲11.1 となり、3 四半期連続悪化した。
- ・売上高は、製造業、非製造業ともに悪化している。収益は、製造業では改善したものの、卸小売業、サービス業などの悪化を受けて非製造業では悪化している。

4. 業種別動向

- ・製造業は、原材料費の高騰や人材不足、海外との競争激化などの要因により、食料品製造業、金属・機械器具製造業を中心に、景況感・売上高・資金繰りの項目で悪化している。研究開発のための機械装置を主とした設備投資は、前年度比で横ばい。
- ・非製造業は、不動産、運輸通信業などにおいて景況感、売上の改善がみられるものの、物価高騰などの影響により、卸小売やサービス業が悪化し、景況感・売上高・収益・資金繰りの項目で悪化している。機械更新などの設備投資も減少している。

5. 経営上の問題点

- ・「従業員対策」が 59%で 5 四半期連続 1 位となり、続いて「原材料値上り」が 53%となっている。

以 上

詳しくはこちらからご覧いただけます。→ [第 136 回九州の経営動向調査](#)

本件に関するお問い合わせ先
融資統括部 右近 TEL 092-476-2781

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。